

調査種別、対象、時点など	実績			主な調査項目	設問数 / ページ数
	配付	回収	回収率		
1 市民一般調査					
・対象 65歳以上の市民で認定を受けていない者 40～64歳の市民で認定を受けていない者	2,600	1,870	71.9%	A 基本属性	55問 / 33ページ
	1,000	494	49.4%	B 住まい	
小計	3,600	2,364	65.7%	C 勤労状況	
				D 健康づくりや介護予防	
・時点 H28.10.1現在の住基・無作為抽出 ・方法 郵送配付、郵送回収（督促礼状1回送付） ・期間 H28.10.28～H28.11.15				E 生活習慣	
				F 認知症	
				G 地域生活と日ごろの活動	
				H 災害時の対応	
				I 情報収集	
				J 高齢者保健福祉サービス	
				K 介護保険	
				L 高齢者の権利擁護	
2 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査（国指定）					
・対象 65歳以上の市民で要支援1・2の認定者 65歳以上の市民で認定を受けていない者	1,000	793	79.3%	A 基本属性	67問 / 14ページ
	1,500	1,109	73.9%	B 家族や生活状況	
小計	2,500	1,902	76.1%	C からだを動かすこと	
				D 食べること	
・時点 H28.10.1現在の住基及びサービス利用者 ・無作為抽出 ・方法 郵送配付、郵送回収（督促礼状1回送付） ・期間 H28.10.28～H28.11.15				E 毎日の生活	
				F 地域での活動	
				G たすけあい	
				H 健康	
3 要支援・要介護認定者調査					
・対象 65歳以上の市民で居宅サービス利用者 65歳以上の市民で施設サービス利用者 65歳以上の市民でサービス未利用者	1,500	990	66.0%	A 基本属性	52問 / 34ページ
	500	210	42.0%	B 住まい	
	500	306	61.2%	C 医療	
小計	2,500	1,506	60.2%	D 介護保険	
・時点 H28.10.1現在の認定者・各無作為抽出 ・方法 郵送配付、郵送回収（督促礼状1回送付） ・期間 H28.10.28～H28.11.15				E 利用者本位のサービスのあり方	
				F 高齢者の権利擁護	
				G 高齢者保健福祉サービス	
				H 認知症	
				I 日ごろの生活	
				J 主な介護者の状況や意向	
4 介護保険サービス提供事業者調査					
・対象 市内で介護予防・居宅介護サービス、 施設サービスを提供している全事業所 ・時点 H28.10.1現在の全事業所 ・方法 郵送配付、郵送回収（督促礼状1回送付） ・期間 H28.10.28～H28.11.15	208	155	74.5%	A 基本属性	42問 / 22ページ
				B 今後の事業運営	
				C 地域密着型サービス	
				D サービス提供における課題	
				E サービスの質の向上と人材確保に向けた取組	
				F 認知症患者のサービス利用	
				G 医療と介護の連携の状況	
				H 災害時の体制	
				I 市への意向	
5 介護支援専門員（ケアマネジャー）調査					
・対象 市内の居宅介護支援事業所に在籍する 全介護支援専門員 ・時点 H28.10.1現在の全事業者 ・方法 郵送配付、郵送回収（督促礼状1回送付） ・期間 H28.10.28～H28.11.15	174	122	70.1%	A 基本属性	58問 / 26ページ
				B ケアマネジャー業務の担当状況	
				C 担当地域におけるサービスの状況	
				D サービス提供事業者等との関わり	
				E サービス担当者会議	
				F 地域包括支援センターの役割	
				G サービス利用者の在宅医療の状況	
				H 認知症患者のサービス利用	
				I 医療と介護の連携の状況	
				J ケアマネジャー業務全般	
				K 市への意向	
6 医療関係者調査					
・対象 市内の医療関係機関に所属する医療従事者 （診療所、病院、歯科診療所、薬局、 訪問看護ステーション） ・時点 H28.10.1現在の全事業所に所属する関係者1名 ・方法 郵送配付、郵送回収（督促礼状1回送付） ・期間 H28.10.28～H28.11.15	425	279	65.6%	A 基本属性	61問 / 19ページ
				B 在宅療養支援への取組状況	
				C 医療と介護の連携の状況	
				D 医師の取組状況	
				E 歯科医師の取組状況	
				F 薬剤師の取組状況	
				G 看護師の取組状況	
				H 訪問看護師の取組状況	
				I 医療ソーシャルワーカーの取組状況	
				J 医療と介護の連携の状況（自由記述）	
				K 地域包括ケアシステムに向けた医療と介護の連携	

< 市民一般調査 >

市民の健康づくりの取組状況や生活習慣、認知症等についての意識、社会活動への参加状況等を把握するとともに、要支援・要介護認定を受けていない高齢者の意識と生活実態を把握し、サービスの潜在需要や介護予防の具体化に向けた方策などを検討した。

調査項目	趣旨・計画への反映
A．基本属性	・属性（性別、年齢、世帯類型等）を把握 ・クロス集計に使用
B．住まいについて	・居住形態や住まいや住環境で困っていることを把握
C．就労状況について	・収入のある仕事、就労意向を把握
D．健康づくりや介護予防などについて	・幸福度、主観的健康観、健康診断の受診状況を把握 ・治療中の病気、かかりつけ医・歯科医・薬局を把握 ・介護予防意向、事業への参加意向を把握し、地域における介護予防事業の推進策に反映
E．生活習慣について	・食生活、運動習慣、こころの健康づくりを把握
F．認知症について	・認知症の理解、啓発活動の認知・参加意向を把握 ・認知症をなった場合の生活の場の意向、認知症となったときの備え等を把握
G．地域生活と日ごろの活動について	・近所づきあい、地域に手助けしてほしいこと等を把握 ・地域活動、ボランティアへの参加状況・意向を把握
H．災害時の対応について	・自然災害が増加しているなかで、災害時に備えた名簿登録、災害に備えて市民と企業による協働策、手助けが必要な人に対して災害時にできることを把握
I．情報について	・健康や介護、福祉サービス、地域活動の情報入手等を把握
J．高齢者保健福祉サービスについて	・サービスの利用意向を把握し、市が優先的に取り組むべきことに反映
K．介護保険について	・介護保険の利用、認知度を把握 ・要介護となったとき生活の場などの意向を把握
L．高齢者の権利擁護について	・地域包括支援センターなどの相談窓口の認知度を把握

<介護予防・日常生活圏域ニーズ調査>

要支援 1・2 の認定を受けている人及び要支援・要介護認定を受けていない高齢者の家族や生活状況、身体状況や外出の状況、転倒予防の状況等を把握し、生活支援の必要性などを検討した。

調査項目	趣旨・計画への反映
A．基本属性	・属性（性別、年齢、世帯類型等）を把握 ・クロス集計に使用
B．家族や生活状況について	・要介護状態になる前の高齢者の介護の必要度や経済的状态を把握
C．からだを動かすことについて	・運動機能の低下、転倒リスクが高い高齢者の地域分布を把握することで、事業の対象者・対象地域・実施内容の検討の際に活用
D．食べることについて	・低栄養、口腔ケアが必要な高齢者、孤食の状況を把握
E．毎日の生活について	・認知機能、IADL（手段的日常生活動作）が低下している高齢者の地域分布を把握
F．地域での活動について	・地域活動、地域づくりの参加意向を把握
G．たすけあいについて	・地域のたすけあいの状況を把握
H．健康について	・主観的健康感や幸福感と、うつ傾向の関係を把握

<要支援・要介護認定者調査>

要支援・要介護認定者のサービスの利用状況と利用意向を把握し、サービスの水準の目標設定やサービス提供のあり方などを検討した。

調査項目	趣旨・計画への反映
A．基本属性	・属性（性別、年齢、世帯類型等）を把握 ・クロス集計に使用
B．住まいについて	・居住形態や住まいや住環境で困っていることを把握
C．医療について	・治療中の病気の有無、かかりつけ医・歯科医・薬局の有無、受けている医療処置を把握し、医療・介護連携に反映
D．介護保険について	・認定を受けた理由、サービス利用による生活への影響、利用状況・満足度、ケアプランの満足度、介護保険充実のために市が力を入れるべきこと等と把握
E．利用者本位のサービスのあり方について	
F．高齢者の権利擁護について	・相談窓口の認知度、困っていることを把握
G．高齢者保健福祉サービスについて	・サービスの利用状況、民間サービスの利用状況を把握
H．認知症について	・認知症の理解、啓発活動の認知・参加意向を把握 ・認知症をなった場合の生活の場の意向、認知症となったときの備え等を把握
I．日ごろの生活について	・主観的幸福感、地域に手助けしてほしいこと・支え合いとしてできること、参加したい活動を把握
J．主な介護者の状況や意向について （主な介護者が回答）	・家族介護者の状況（続柄、介護の程度、課題）を把握し、家族介護者への支援策を検討する

<介護保険サービス提供事業者調査>

予防・居宅介護サービス、施設サービスを提供している事業所の運営状況や今後の事業展開、市への意見や要望等を把握し、介護保険制度の適切な運営に向けた方策などを検討した。

調査項目	趣旨・計画への反映
A．基本属性	・属性把握 ・クロス集計に使用
B．今後の事業運営について	・事業運営上の現状と課題を把握
C．地域密着型サービスについて	・サービスへの参入予定を把握
D．サービス提供における課題	・困難ケースに関する現状と課題を把握
E．サービスの質の向上と人材確保に向けた取組	・人材確保に向けた取組状況と課題の把握 ・サービスの質の向上に向けた研修等の取組状況と課題を把握
F．認知症患者のサービス利用について	・更なる増加が予想される認知症高齢者に対する支援について、サービス提供者からみた現状と課題を把握
G．医療と介護の連携の状況について	・医療・介護連携について、サービス提供者からみた現状と今後の課題を把握
H．災害時の体制について	・自然災害が多発しているなかで、介護サービス提供時等の対応策について現状と課題を把握
G．市への意向について	・介護保険制度をよりよくするために市が力を入れるべきことなどについて意向把握

<介護支援専門員（ケアマネジャー）調査>

ケアマネジャーの業務の状況や、業務全般の考え、並びに医療と介護の連携の状況等を把握し、介護保険制度の適切な運営に向けた方策や医療と介護の連携の方策を検討した。

調査項目	趣旨・計画への反映
A．基本属性	・CM本人の属性把握
B．ケアマネジャー業務の担当状況について	・クロス集計に使用
C．担当地域におけるサービスの状況について	・今後充実が必要なサービスについて把握
D．サービス提供事業所等との関わり	・ケアプラン作成時の現状と課題を把握
E．サービス担当者会議について	・担当者会議の改善に向けた課題を把握
F．地域包括支援センターの役割について	・地域包括支援センターとの連携状況を把握
G．サービス利用者の在宅医療の状況について	・要介護認定者の医療ニーズと提供体制の現状、課題を把握
H．認知症患者のサービス利用について	・更なる増加が予想される認知症高齢者のニーズや課題を把握
I．医療と介護の連携の状況について	・第6期計画（2015年度）より強化が図られた「医療・介護連携」について現状と今後の課題を把握
J．ケアマネジャー業務全般について	・ケアマネジャーへの支援に向けたニーズや課題を把握
K．市への意向について	・ケアマネジャーとして市に望むこと、介護保険の充実のために市が力を入れるべきことを把握

< 医療関係者調査 >

医療機関（病院・診療所、歯科診療所、保険薬局）及び訪問看護ステーションにおける市民への在宅療養の取組状況や医療と介護の連携の状況等を把握し、医療と介護の連携の方策などを検討した。

調査項目	趣旨・計画への反映
A．基本属性	<ul style="list-style-type: none"> ・属性把握 ・クロス集計に使用
B．在宅療養支援への取組状況について	<ul style="list-style-type: none"> ・第6期計画（2015年度）より強化が図られた「医療・介護」連携について現状と課題を把握
C．医療と介護の連携の状況について	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険サービス事業者との連携の状況、在宅医療の状況を把握
D．医師の取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・各医療関係者（医師（診療所）、歯科医師（歯科診療所）、薬剤師（薬局）、看護師（病院）、看護師（訪看）、MSW（病院））からみた「医療と介護」の連携について、現状と課題を把握
E．歯科医師の取組状況	
F．薬剤師の取組状況	
G．看護師の取組状況	
H．訪問看護師の取組状況	
I．医療ソーシャルワーカー（MSW）の取組状況	
J．医療と介護の連携の状況について	<ul style="list-style-type: none"> ・各医療関係者からみた「医療と介護」の連携について、現状と課題を把握
K．地域包括ケアシステムに向けた医療と介護の連携について	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステムの充実に向け、医療関係者からみた医療と介護の連携について、現状と課題を把握